

隠蔽

パワハラ

こんな傲慢な会社姿勢が続けば

恫喝 組合員・社員は潰される 偽造

注目

八王子支社管内の駅で勤務しているAさんは、フレキシブルな作業ダイヤにおいて休憩終了後の作業を管理者に伝え、執務室を離れその作業を行っていたところ、休憩時間が終了後にAさんが執務室に居なかったことで管理者の聞き取りが行われた。

【恫喝・パワハラ】

突き飛ばし・首元を絞めあげる



聞き取りの際、認識の違いから管理者が激高し、社員Aが恐怖を感じ、その場を離れようとしたが管理者に制止され、首元を押さえつけられた。Aさんが「パワハラですよ」と抗議するも激昂し、管理者は「それが何だ」と返答し、身の危険を感じたAさんはその場から逃げようと、管理者を振り払った際に、管理者が尻もちをついた。Aさんはその場から逃げようとしたが、管理者はすぐに起き上がり、Aさんを掴んだ為、揉み合いとなり、Aさんは「助けて!」と2~3回叫び、他の社員が仲裁に入った。

【偽造・隠蔽・処分】

出勤停止20日間の処分と出向

Aさんは、精神的ダメージもあり帰宅を希望するが管理者は所定勤務を命じた。後日、状況報告書の作成を命じるが、「ここを消して」「ここ書き直して」など5~6回添削、また「状況報告書を作成しないと年休を承認しない」と言われ、本人の意思が尊重されない報告書を作成した。

1か月後に面談が行われ、首都圏本部社員から「上司への暴行は罪が重い。傷害事件」「家族が悲しむ」などと言われ、首都圏本部社員の指示によりパワハラの実態は揉み消し、納得のいかない謝罪の状況報告書を作成した。

Aさんは会社への恐怖を感じ、JR東労組に相談し加入。事象から約3ヵ月後、管理者を突き飛ばし傷害を負わせたという理由で出勤停止20日間の処分と出向が命じられた。



パワハラの実態を歪曲し、つくられた処分を下す会社姿勢は許されない!!
組合に所属していない皆さん!!
今こそ加入し、共に怒りの声を上げていこう!!